

2025年11月28日

世界の人びとのための J I C A 基金活用事業 終了時活動報告書（2024 年度採択案件）

1. 業務の概要	
(1) 案件名	定住外国人向けキャリア形成と生活ガイドブック
(2) 実施団体名	一般社団法人 SETTEN
(3) 実施期間	2025 年 2 月 3 日～2025 年 10 月 31 日
(4) 実施国	日本
(5) 活動地域	愛知県
<p>(6) 活動概要</p> <p>①活動の背景：</p> <p>日本全国に約 21 万人の定住権及び永住権ビザを持つブラジル人等が定住しており、その大半が派遣社員として不安定な収入と雇用契約で生活しています。派遣社員の法的制度の問題で 2 年 11 ヶ月以内にほとんどの派遣社員の外国人は職場が変わり、その都度引越しを余儀なくされています。それに伴い外国籍の子どもは転校を繰り返すことで、友達が作りにくくいじめにも合いやすいです。転校の時期によっては高等学校への進学に失敗しやすく、中卒・高校中退・夜間学校卒と教育環境で苦労している子ども達が多く、一部の子は非行にはってしまう問題があります。この悪循環を改善させるには、外国籍の親子に日本人と同じキャリア形成や人生設計の知識や日本社会の仕組みを伝えることで、情報格差を埋めることが可能です。そして、派遣社員から日本企業の正規雇用へ転職し雇用環境と収入を安定させることが重要です。また、日本国内では、少子高齢化による人口減少が企業の深刻な人手不足問題となっています。本来は、定住外国人を雇用すれば解決する部分があります。しかし、定住外国人の日本語力不足、日本社会での知識不足、日本文化の理解不足等で労災事故や労働トラブルに繋がる恐れがあるという不安が大きな障害となって、定住外国人の正規雇用へ踏み切れる企業が少ないのが現状です。その問題を解決すべく、当団体では定住外国人へ向けた日本でのキャリア形成及び人生設計セミナーをポルトガル語と日本語で開催してきました。企業向けに安全衛生大会の講師として、外国人労働者が日本人社員および企業と安全に協働する職場づくりについての講話を行ってきました。そして、外国人労働者と企業、行政、教育機関が接点を持ち情報を共有する機会として「SETTEN2023」といったイベントを開催してきました。</p> <p>この活動を通じ、定住外国人へ向けた日本でのキャリア形成や人生設計、生活に関する情報格差を埋めるためのガイドブックを作成し、無料配布することで初動の問題解決へ繋がると考えました。</p> <p>②活動の目標：</p> <p>定住外国人へ日本でのキャリア形成や人生設計、生活に関する情報格差を埋める。日本企業が正規雇用する上で必要最低限の基礎知識を持った採用しやすい定住外国人を増やす。日本企業の多くが、外国人労働者を最低賃金の非正規で雇用し人材育成を行わない労働環境から、正規雇用で、資格取得支援</p>	

や手当を含むキャリア形成支援を行う雇用契約と受入体制整備を検討する機会とする。

2. 業務実施結果

(1) 実施した内容

キャリア形成ガイドブックをポルトガル語（4000 部）、スペイン語（2000 部）、日本語（500 部）を作成し、無料の配布とガイドブックの活用方法の説明を行いました。

配布対象は、日本国内で定住者ビザ及び永住者ビザを持つ定住外国人（国籍：ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン、フィリピンなど）。

【配布先】

行政機関：岡崎市役所、西尾市役所

教育機関：愛知県立高校の定時制 12 校（蒲郡、豊田西、豊野、豊田工科、岡崎、岡崎工科、碧南、刈谷東、安城、一色、豊橋工科、御津あおば）

団体機関：岡崎商工会議所、西尾商工会議所、岡崎市国際交流協会、西尾市国際交流協会、外国人の健全な受入に関する研究会（参加企業等 70 団体組織）、愛知県経営者協会、一般社団法人中部産業連盟、岡崎鉄工会、全国建設青年会議、トーエネック協力会等

一般企業：医療法人利他（院内にて患者へ配布）、愛知県、三重県、静岡県内の企業、企業組合や業界団体の会員企業（40 社）を通じて働く外国人や採用面接の外国人へ配布

イベント配布：保見団地（バザー、チャリティー、夏祭り、キャッサバ芋販売などのイベント時）、日伯交流 130 周年記念

セミナー配布：建設業の安全衛生大会

個別配布：各地ブラジル料理店、当団体へ相談のある日本式履歴書作成支援者

(2) 実施成果：

行政機関への配布では、窓口がどのようなことに困っているのか、また行政機関と連携する団体の意見を聞くことができ、定住外国人はどんな情報が不足して困っているか知る機会となりました。

教育機関へ配布した際は、学校の先生から大変喜ばれました。定時制に通う外国籍の学生は、正社員への就職率が低く、その原因は、両親が非正規雇用で働いており、子どもにも同じように非正規の仕事を勧めていることでした。今回のガイドブックが、両親と生徒に日本社会のキャリア形成を知る機会になるという声を頂きました。また、就職希望の学生への配布と教育機関への寄贈を可能なら毎年継続して行って欲しいという要望がありました。

団体機関への配布では、様々な製造業などの業種企業で集まる協同組合や企業団体に加入する会員企業がある中で、特に従業員数 100 人以下の中小企業において外国人の雇用が進んでいますが、採用後様々な問題が発生することに困っており、ガイドブックを活用して、より細かな課題に対応するセミナーの企画が求められていることがわかりました。特に岡崎市で当団体も設立に協力した「外国人の健全な受入れに関する研究会」においては、キャリア形成ガイドブックの配布が機会となり、日本の中心となっている自動車産業の主軸大手企業に対し、外国人雇用後の定着から育成について、キャリア形成ガイドブックを参考にした外国人向けの人材育成テキストの作成と人材育成セミナー実施の重要性を伝え、キャリア形成ガイドブックの提供と連動したセミナーを労働組合の予算で実施することを提案できました。

一般企業への配布は、配布活動の中で最も効果がある手法でした。企業が外国人の正規雇用に向けた面接時にキャリア形成ガイドブックを渡すことで、外国人労働者のモチベーションを大きくアップさせることができ、内定後から労使間で良好な関係を築き、正規雇用を円滑に開始できることが確認できました。多くの企業で継続的にガイドブックを提供して欲しいという声を頂きました。そして、今後の継続的な活動の上で重要なキャリア形成ガイドブックの改訂や増刷の予算確保について、ガイドブックを希望する企業から協賛金を集める方法が見つかりました。

定住外国人への個別面談による配布では、キャリア形成ガイドブックの活用方法や日本社会での賃金アップとキャリア形成の仕組みを丁寧に伝えることができました。

（３）得られた教訓など：

色々な配布方法を検証した結果、キャリア形成ガイドブックは、外国人を健全なカタチで受入れ、差別のない正規雇用契約を結んでいる企業へ配布することが最も効果的であると分かりました。企業側にガイドブックのニーズがあることから、今後の課題であったガイドブックの改訂や増刷の予算を企業から調達する方法を見出すことができました。

特に企業が外国人の採用面接時にガイドブックを配布することは、外国人労働者が日本社会でのキャリア形成の仕組みを知る機会と、日本で成功するチャンスを得たと感じるようになり、その結果、入社時に高いモチベーションで仕事を始められることが確認できました。

また、一方で日本人の先輩社員が外国人へ業務指導をする際に日本語版のキャリア形成ガイドブックが欲しいというニーズが多く、日本語版の冊数が圧倒的に不足してしまいました。また、近年ベトナム人が増加しており、ベトナム語のキャリア形成ガイドブックも製作し提供して欲しいという声が沢山ありました。真面目なキャリア形成のセミナーを企画しましたが、実現できませんでした。昨今のインフレ経済の中で外国人労働者の収入は減少し、生活が苦しくなったため、副業等のダブルワークをしており、セミナーに参加する時間や気持ちの余裕が無い状況にあることがわかりました。そのため、転職し収入がアップする、生活が安定するなどのわかりやすい生活利益に直結するイベントを企画していく必要があることがわかりました。

（４）今後の活動・フォローアップの方針：

2025年度のJICA基金事業を活用し、今回作成のキャリア形成ガイドブックを活用した定住外国人の正規雇用と企業の人手不足解決に向けて、両者の接点を作る交流イベントを３回開催します。政治や経済が大きく変化する日本社会の中で、企業と定住外国人の両方にわかりやすくメリットが伝わるイベントであることが重要です。具体的に、企業にとっては、定住外国人の素顔や人間性を知る機会となり、定住外国人にとっては、日本の中小企業における管理職の役割と役職により昇給する仕組みを知り、給与アップと生活の安定に繋がる機会となるイベントを開催します。この企画を通じて、ガイドブック増刷費用やイベントの継続的開催に必要な資金を、企業から協賛金という形で集める仕組みを構築していきます。

今回の活動で愛知県経営者協会やトヨタ系労働組合、商工会議所との繋がりができました。社会課題解決に向けた共創パートナーとして連携しながら、キャリア形成ガイドブックを軸にさらに発展させたテキスト作成とキャリア教育セミナーの企画と実施をしていく計画です。

また、ガイドブックの改訂についても、教育関係者とも連携しアドバイスを頂きながら、社会構造の変化、法律的な変化、インフレ経済下での企業の賃金形態の変化などに応じて改編していきたいと考えております。

定時制高校での継続的なガイドブックの配布希望に対しては、印刷物提供にかかる費用負担という課題があります。そのため、配布方法をデジタル化し、ペーパーレスによるコスト削減を検討していきたいと考えております。今後、企業が外国人の高卒新卒採用を検討していくニーズがあれば、協賛金が集まり印刷物での配布も可能になります。デジタル配布と印刷配布の両方を視野に入れて検討していきます。

3. その他(エピソード・感想・写真など)

(1) 活動中のエピソード・感想など

一般企業への配布時、定住外国人のキャリア形成支援において、企業の総務人事担当者や先輩社員が大変苦勞しており、日本人を支援するためのテキストやカリキュラムがないという声が非常に多くありました。今回のガイドブックは、日本人社員の支援にも役立つため、日本語版を日本人の若手社員へ配布したいから提供して欲しいという想定外の要望が多数寄せられました。そして、日本人が定住外国人へキャリア教育を行うことの重要性に気付く機会となりました。

配布したブラジル人等の定住外国人からは、勉強になる非常に良いテキストだと好評でした。しかしながら喜んでくれた人の多くは、年配の方が多く、このテキストが日本へ来日した時に欲しかったという意見を沢山もらいました。

(2) 活動の写真



(岡崎市寄贈)



(西尾市寄贈)



(外国人の健全な受入に関する研究会)



(キャッサバ芋販売で配布)



(日伯交流 130 周年記念)



(キャリア形成ガイドブック 3 言語)

(3) JICA 基金活用事業を実施したことで団体の成長につながった点・良かった点

事業計画時に立てた仮説と、実際に事業を実施して多くの企業や定住外国人の声を聴いたことで、団体として今後取り組むべき課題が明確になりました。また、変化する社会や経済情勢を踏まえ、10 年先を見据えた活動の視点を持つことができました。また、JICA の本事業として良かったことは、ガイドブックの構成について、ユーザーである定住外国人が求める「収入アップやキャリア形成」の視点と、企業が求める「利益への貢献」という双方の経済的な視点を軸に作成できたことです。本ガイドブックは、JICA 基金事業の社会課題へ柔軟にアプローチできる特性を活かし、一般的な生活情報や手続きの案内に留まらず、より具体的かつ実用的な構成を実現しました。具体的には、行政機関が幅広い層を対象とするのに対し、読者を日本で働く定住外国人（主に永住者）に絞り込み、単に生活情報を提供するのではなく「日本社会の中で収入アップやキャリア形成を具体的に実現する方法」を主軸としたことで企業から非常に高い評価と更には、これをアップデートしたテキストを作成して欲しいという新たなニーズを受ける機会となりました。また、当団体より規模の大きい愛知県経営者協会などと連携し、定住外国人の正規雇用と中小企業の人手不足の解決に向けて、一緒に取り組む機会を得ることができました。今後の活動に向け共通課題に対して共創できるパートナーを見つけることができたのは JICA 基金だからこその結果だと感謝しております。